

## 資料2 第2期子ども・子育て支援事業計画における令和3年度確保方策の実施状況について

### はじめに 第2期子ども・子育て支援事業計画について

少子高齢化・核家族化の進行、働き方の多様化、地域のつながりの希薄化などの背景のもと、平成27年度より「子ども・子育て支援新制度」が開始され、苫小牧市では「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、乳幼児への教育・保育の充実、子育て支援に関する施策推進に取り組んでおります。

現在は、第2期計画により、令和2年度から令和6年度までの5年間、すべての子どもの育ちと子育てを社会全体で支援するため、総合的な子育て関連施策を推進していくための計画となっており、毎年度実績に基づいて評価を行うこととしております。

### 1 特定教育・保育施設

《表の見方について》

項目	内容
量の見込み	保育所や幼稚園等への入所を希望するニーズ量の見込み
目標値	計画で定めた受入数の目標値
受入枠	各施設で設定した定員の合計
実績	実際に受け入れた園児の実績数

《認定区分ごとの令和3年度の実績等》

認定区分	実績等
1号（3～5歳児）	受入枠、実績ともに目標値を下回ったが、ニーズ量の実績以上の受入枠を確保できた。
2号（3～5歳児）	受入枠、実績ともに目標値を上回った。
3号（1～2歳児）	受入枠、実績ともに目標値を上回った。
3号（0歳児）	受入枠、実績ともに目標値を下回り、待機児童が発生した。

※1号：保育を必要としない3～5歳（幼稚園、認定こども園の幼稚園部分を利用）

2号：保育を必要とする3～5歳（保育園、認定こども園の保育所部分を利用）

3号：保育を必要とする0～2歳（保育園、小規模保育事業、認定こども園の保育所部分を利用）

≪評価を「B」とした理由について≫

1号（3～5歳児）は、目標値には到達していない状況ですが、ニーズ量の実績に十分対応可能な受入枠の確保ができています。3号（0歳児）は、各園に定員を超過して園児を受け入れていただいているものの、引き続き目標値には到達していない状況です。一方で、3号（0歳児）以外は概ね目標分を受け入れる体制が確保できていることから、全体の評価としては「B」としております。今後も、「第2期子ども・子育て支援事業計画」に沿って施設整備を進め、受入枠を拡充していきます。

## 2 地域子ども・子育て支援事業

≪施策ごとの評価、現状、今後の計画等≫

施策名	評価	R2 評価 (参考)	現状及び今後の計画等
延長保育事業	B	B	新型コロナの影響で受入れが進まなかったが、目標分の受入体制が取れている。
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	A	A	目標を上回る支援ができています。
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	A	B	目標分の受入体制が取れている。
地域子育て支援拠点事業	B	B	新型コロナの影響で受入れが進まなかったが、目標分の受入体制が取れている。
一時預かり事業（幼稚園型）	B	A	新型コロナの影響で受入れが進まなかったが、目標分の受入体制が取れている。
一時預かり事業（保育所等）	B	B	新型コロナの影響で受入れが進まなかったが、目標分の受入体制が取れている。
病児保育事業・子育て援助 活動支援事業	C	C	新型コロナの影響で受入れ未実施。
子育て援助活動支援事業 (就学児のみ)	B	B	新型コロナの影響はあるものの、目標分の受入体制は取れている。
利用者支援事業（特定型）	A	A	市役所、子育て支援センターの2か所に窓口を設置済み。
利用者支援事業 (母子保健型)	A	A	市役所に窓口を設置済み。
妊婦健康診査事業	A	A	必要とする方への助成ができています。
乳児家庭全戸訪問事業	A	A	対象となるほぼすべての家庭への訪問ができています。
養育支援訪問事業 (専門的相談支援)	A	A	希望する方への支援ができています。
養育支援訪問事業 (育児・家事援助)	A	A	目標を上回る支援ができています。

